



平和の会

・ 5 q 7 q q 8年3 fl-2

発行	土浦平和の会
事務局	土浦市神立町2 6 6 4 2
TEL	3 1-9122

こ%oノ

土浦平和の会総会のお知らせ

期日を下記の通り変更しました

と き 4月18日(土)

13:30~15:30

ところ 1中地区公民館(視聴覚室)

会員は誘い合わせてご参加ください

海自輸送艦「おおすみ」肩渉



鬚車を薦世乙・どこへ行くのか1 —水軍の後方支援のための装備を负担する日ホ—

自衛隊の情報紙「朝雲」は、海上自衛隊の新型輸送艦「おおすみ」が3月11日就役したことを報じ、その性能を紹介しています。排水量8、900トン。全長17.8m、26、000馬力22ノット。乗員130人。

20mmバルカン砲装備。エアクッション艇(LC C)2隻搭載。90式戦車10両積載可能。大型ヘリ2機発着可能。完全装備普通科3個中隊(330人)搭乗可能。一般乗客t、000人乗船可能など。PKO活動等で「海上基地」の役割を担うと紹介しています。PKO活動は自衛隊の任務ではありません。しかし、隊員は武器の所持を認められ、隊長の命令により、部隊単位の戦闘が認められるように法改正がおこなわれました。戦闘可能な軍隊となったわけです。

「おおすみ」は何のために戦車や武装兵員を海外へ運ぶのでしょうか。新ガイドライン策定以来、アメリカの後方支援のための準備が急速に進んでいます。日米統合演習がデジタル通信網を駆使して行われています。「おおすみ」の値段はいくらなのかわかりませんが、空自の1機120億円もするF2支援戦闘機やAWACS早期警戒機、10億円の90式戦車など、防衛よりも攻撃型の装備や、後方支援型装備に大金がつかまれているのは自衛隊の装備に対するアメリカの要求が強まっているためです。アメリカの戦争のために血税をつぎ込むことには納得できません。

行事ごよみ

- 3月17日] 上浦平和の会理事会(1中地区公)
- 3月28日 基地見学ツアー
- 4月1日] 県平和委常任理事会(水戸)
- 4月1日 土浦平和の会理事会(1中地区公)
- 4月18日 上浦平和の会総会(1中地区公民館)
- 5月3日 憲法記念土浦集会(ワークヒル)
- 5月9日 県平和委理事会(石岡)
- 5月24日] 県平和委大会
- 6月6・7日 日本平和委大会()

9月9日扈刪s 痴Zly汾

に参加しよう

と き 5月3日(日)

午後 1:30~4:30

ところ 土浦市木田余ワークヒル

土浦革新懇 新婦人土浦支部 土浦平和の会
ポッポの会 土浦民主商工会 高教組土浦支

部